

ない思いがしました。

——その犬たちはその後どうなるのですか？

迷い犬として保護された犬の場合は愛護センターなどに3—7日ほど収容され、飼い主などの引き取り手がない場合に殺処分されるということになっているのですが、飼い主自身が持ち込んだ犬は翌日にはもう殺処分という感じです。

——シンポジウムでは浅田さんが「殺処分の方法も酷い」と発言されていましたね

日本では二酸化炭素ガスを使った殺処分がほとんど。これは決して安楽死ではありません。電車のようにすし詰め状態でパニック状態になり苦しみながら死んでいく「窒息死」です。麻



酔剤を併用した安楽死に変えるべきだと思います。犬が泣き叫ぶ姿や壁をひっかく姿が頭から離れず、夢でうなされる職員もいます。「犬・ネコ回収車」や殺処分の現状については**ペット大国日本の責任!—いのちがおしえてくれたこと**（長崎出版）という本で詳しく書いています。興味のある方はぜひ読んでみてください。

悪徳業者排除のための動物愛護法改正を

——業者側の問題についてもお聞きしたいと思います。悪徳業者が後を絶たないとのことですが

売れない犬を保健所に連れて行って処分してもらったり、糞尿だらけの不衛生な状態で育て、ごはんをろくに与えなかったり。これは虐待ですね。悪環境に置かれた犬は体の免疫力が低



ドキュメンタリー『最後の瞳』の上映